



結核しずおか

29号2011年9月20日

発行

財団法人 結核予防会静岡県支部
〒420-0915
静岡市葵区南瀬名町6-20
TEL 054-261-2512
FAX 054-261-9474
Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 鈴木美行
印刷 明和印刷株式会社



巻頭言

平成23年4月から静岡県健康福祉部医療健康局疾病対策課長として、県の感染症、難病対策に携わっております。関係機関の皆様におかれましては、結核対策をはじめ、県の健康福祉行政に御理解、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本年8月に、平成22年の全国の結核登録者情報をとりまとめた年報が公表されました。これを見ると、①結核の罹患率は減少傾向であるものの、国内で2万3千人以上の結核患者が発生していること、②70歳以上の結核患者は新たに登録された患者の半数以上を占めており、さらに増加傾向であること、③働き盛りの結核患者において、受診の遅れが目立つこと、④外国籍結核患者の割合は増加傾向であること、⑤結核罹患率の地域差は依然として大きく、大都市で高いこと、⑥日本は結核中まん延国であること、となっております。

本県においても、全国の状況と同様に、結核患者数・罹患率は年々減少傾向ではあるものの、患者の半数以上を占める高齢者の結核や、働き盛り世代における結核の発見の遅れ等、問題が多様化・複雑化している状況にあります。

このような中、本県といたしましては、保健所、医療機関等関係機関の連携のもと、広域的な結核対策や患者支援を積極的に進めております。

一例として、県西部地区では「結核チームケア検討会」を継続的に開催しておりますが、組織間の連携がより円滑になったほか、DOTSカンファレンス等の「事業展開」へとつながり、地域における連携の1つのモデルとして、外部からも注目される取組となっております。国の予防指針においても、服薬支援はもちろんのこと、結核の早期診断につながる取組や精度管理、適切な医療の提供等、地域連携が重要であるとして位置づけていることから、今後も、各地区の特徴を生かした地域連携の推進をより一層進めてまいります。

今後とも、県民の皆様が安心して健やかに暮らすことができる“ふじのくに”を実現するため、関係の皆様方には、引き続き、御協力をお願い申し上げますとともに、(財)結核予防会静岡県支部が、地域における結核予防の重要な役割をより果たしていくことを期待しております。



静岡県健康福祉部医療健康局疾病対策課長

岡山 英光

「いまだ結核なんて・・・」そう思っていないですか？



数年前、人気若手女性お笑いタレントが発病し、騒動になったことや、また、つい数ヶ月前には、タレントのJOYさん(ストップ結核ボランティア大使)が発病したことで話題になった「肺結核」。

「結核なんて、昔の病気でしょ?」と驚かれた方も多いことでしょう。

しかし、世界では、毎年940万人が発病し、170万人が亡くなっており、日本国内においても、毎年2万4千人の患者が発生し、2千人を超える方が亡くなっている我が国の主要な感染症であり、「現在進行形の病気」といえます。

結核を本当に昔の病気にするためには、1人1人が「結核」について正しい認識をもつことが大切です。いま一度、どんな病気が勉強しましょう!

「結核」ってどんな病気?

結核とは、「結核菌」という細菌が引き起こす「おでき」のようなものです。最初は炎症から始まり、それが進むと組織がだめになって「化膿」に似た状態になります。

肺結核ではこの状態がかなり長く続き、レントゲンなどに写る影の大半がこの時期の病巣です。その後、だめになった組織がドロドロにとけて、せきやくしゃみと一緒に気管支を通して肺の外に出され、病巣は空洞(穴のあいた状態)になります。空洞なので空気も肺からの栄養も十分にあり、結核菌には絶好のすみかとなって菌はどんどん増殖します。

ここから菌が肺の他の部分に飛び火したり、リンパや血液の流れに乗って他の臓器でも結核菌が悪さを始めたりすることもあります。こうして結核は肺全体、全身に拡がって行きます。最後には肺の組織が破壊され呼吸困難や喀血、他の臓器不全を起こして生命の危機を招くことになります。

結核の感染と発病とは!!

「結核菌を吸い込む=結核を発病」ではないのです。感染しても発病しないケースもあります。これは結核菌が体内の免疫システムにより退治されたからではなく、免疫システムによって封じ込められた状態となり増殖できなくなってしまったからです。つまり結核菌を封じ込めたまま、普通に生活を続けることが可能です。結核菌を体内から出すこともありません。

結核の初期症状は、せき、くしゃみ、鼻水、たんという風邪と同様の症状です。発熱が現れたり、倦怠感や食欲不振なども現れます。肺結核を発病すると、結核菌が増殖を始めます。病状が進むに従い、肺の中で増殖した菌は、せきやたんの中に混じって空気中に吐き出されるようになるのです。この段階では他の人に感染するリスクが大きくなります。

結核は空気感染する!!

結核患者がせきやくしゃみをする時に、飛び散るシブキの中に結核菌が浮いていて、その空気を吸い込むことによって感染します。

このような症状が続くようなら、結核を疑って早めに医療機関を受診しましょう。症状が1ヶ月以上続く人からは、25人に1人の割合で結核患者が見つかっています。



肺結核ヘルスチェック

こんな症状ありませんか・・・?

- せきが2週間続いている。
- 痰がよく出る。
- 食欲が低下する。
- からだがだるい。
- 急に体重が減る。
- 寝汗が出る。
- つかれやすい。
- 息切れや胸の痛みがある。
- 37度台の微熱が2週間続く。



●感染とは・・・

結核菌を吸い込んでも身体の免疫機能により、体内に結核菌が閉じ込められた状態。

●発病とは・・・

身体の免疫力・抵抗力の低下により、結核菌が活動を始めること。

結核の予防と治療

結核は、注意をしていればそれほど恐れる必要はありません

高齢者の発病に注意!!

結核が流行した世代の人は、結核菌が肺の中に眠っており、体力・抵抗力が低下すると顔を出します。

結核の症状が疑われる場合や、体調の異変を感じたら、早めに受診を心がけましょう。

学生・社会人の集団感染が危険!!

学校・事業所、さらに病院や福祉施設などの集団感染が増加しています。

健康管理や健診による早期発見で感染の広がりを抑えることが重要です。

赤ちゃんを守ってお父さん、お母さん!!

赤ちゃんの結核は、進行が早く重症になることが多いため、生命にかかわることも・・・。乳幼児の結核の多くは、家族からの感染です。赤ちゃんを守るため、お父さん、お母さんが正しい知識を持ち、日ごろから自分と家族の健康管理をすることが大切です。

結核の発病と重症化を防ぐのに最も予防効果が期待できるBCGは、抵抗力の弱い生後3ヶ月から6ヶ月に接種しましょう。

どうやって治すの?

基本的に薬で治します。3~4種類の薬剤を服用します。

服用期間は、基本的に6ヶ月ですが、個人の病状や経過によって長くなる場合があります。

結核は通常、薬(抗結核薬等)を医師の指示通りに飲めば治ります。大切なのは、医師から「薬を飲むのを止めてもいい」と言われるまで、処方された通りに薬を飲み続けることです。

せきが止まったからといって勝手に薬の飲み方を不規則にしたり、飲むのを止めてしまったりすると、結核菌が「耐性」を持ち、薬の効かない菌(耐性結核菌)が出来てしまいます。

耐性結核は、通常の治療よりも多種の薬を、さらに長期間服用しなければならず、場合によっては、外科的に病巣を切除せざるを得ないこともあります。その分、入院期間も長かかってしまいます。

治療を確実にするために、服薬を支援するDOTSの推進が強化されつつあります。

ひとりひとりができる予防法

- 睡眠時間を十分とる
- 適度に運動する
- 好き嫌いをせずバランスのとれた食事をする



健診があなたをまもる、家族もまもる。
年1回は、健康診断を受けましょう。





全国・静岡県の結核の統計



(「結核の統計」より抜粋)

平成22年度末現在の本県の結核登録患者は、前年に比べて28人減少し、1413人になり、平成22年における新登録患者数は、前年と比較し27人増加し、640人になりました。

新登録患者の年齢構成は60歳以上の割合が70%を超え、免疫力が低下している高齢者の方は、定期健康診断や日ごろの健康チェックが大切になります。

1. 結核登録患者

(人)

区分 年次	年 末 現 在 登 録 者 数				年 内 新 登 録 患 者 数			
	全 国		本 県		全 国		本 県	
	患者数	10万人対 (登録率)	患者数	10万人対 (登録率)	患者数	10万人対 (罹患率)	患者数	10万人対 (罹患率)
昭和36年	1,615,099	1717.1	38,692	1391.1	419,424	445.9	12,235	439.9
50	726,862	649.6	16,695	504.6	108,088	96.6	2,751	83.1
平成15年	77,211	60.5	1,854	48.9	31,638	24.8	852	22.5
16	72,079	56.4	1,853	48.8	29,736	23.3	874	23.0
17	68,508	53.6	1,725	45.5	28,319	22.2	735	19.4
18	65,695	51.4	1,564	41.2	26,384	20.6	765	20.1
19	63,556	49.7	1,561	41.1	25,311	19.8	662	17.4
20	62,244	48.7	1,540	40.5	24,760	19.4	622	16.4
21	59,573	46.7	1,441	38.0	24,170	19.0	613	16.2
22	55,573	43.4	1,413	37.5	23,261	18.2	640	17.0

2. 結核死亡者数

(人)

年次	全国	本県	死因順位・全国
昭和36年	27,916	652	7位
40	22,366	560	7
60	4,692	126	16
平成15年	2,337	61	25
16	2,330	57	25
17	2,296	67	25
18	2,269	75	26
19	2,194	67	27
20	2,220	64	25
21	2,159	78	24
22	2,126	52	26

※平成22年は概数

(人口動態統計による)

平成22年における罹患率

(治療が必要な者:10万人対)による各県の状況

◆罹患率の低い県

- 長野県 / 9.1
- 群馬県 / 11.0
- 山形県 / 11.2
- 宮城県 / 11.3
- 福島県 / 12.2

◆罹患率の高い都府県

- 大阪府 / 29.9
- 東京都 / 23.1
- 兵庫県 / 20.9
- 長崎県 / 23.3
- 愛知県 / 22.5

★静岡県17.0 順位は低い方から28番目

3. 新登録患者年齢構成 (静岡県)

(%)

区分 年次	年 齢 別 構 成 率						
	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳~
昭和36年	20.0	15.9	18.3	13.2	13.4	12.6	6.6
60	2.9	5.8	6.4	10.3	17.4	22.3	34.9
平成15年	0.7	6.7	6.9	4.3	8.6	13.9	58.9
16	1.4	7.3	6.9	3.7	8.0	13.3	59.4
17	1.2	6.3	6.1	4.8	9.8	13.2	58.6
18	1.0	7.2	5.8	5.6	8.5	13.1	58.8
19	1.5	8.3	5.6	4.2	6.8	10.9	62.7
20	1.6	7.4	7.7	5.0	7.1	12.4	58.8
21	1.0	6.2	5.5	4.3	7.0	13.4	62.6
22	0.9	6.7	6.1	6.4	6.3	10.6	63.0





複十字シール運動に ご協力をお願いします

静岡県募金目標額 1500万円



公益財団法人結核予防会が実施します複十字シール運動（結核などの胸の病気を制圧するため、複十字シールを媒体として全国統一して募金活動を行う運動）に、静岡県支部は1500万円の目標を設定しこの運動に協力をします。皆様の温かい善意の募金は、結核予防思想の啓発活動、発展途上国の結核対策援助等の緒事業に充当いたします。今年も複十字シール募金へのご協力をお願いいたします。

ご送金方法について

<口座振込>

①郵便振替

名古屋 00880-4-34116

②銀行振込

静岡銀行 瀬名支店 普通 381964

スルガ銀行 静岡上土支店 普通 1450908

寄付金控除について

公益財団法人結核予防会は【特定公益増進法人】として認定を受けましたので、ご寄付をくださった場合、税法上の優遇措置があります。

① 法人の場合

法人税法の優遇措置があります。

② 個人の場合

今年中に指定法人にご寄付された金額が、本件を含めて二千元を超える場合、その超えた金額が今年の所得から控除されます。ただし、年間所得の40%までの額とされます。



協力

財団法人結核予防会静岡県支部

電話：054-261-2512 (代)

E-mail：tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

主催 公益財団法人結核予防会

URL <http://www.jatahq.org>

結核予防週間によせて

平成23年9月24日(土)～30日(金)

わが国の結核の現状は、平成22年中に新たに結核患者として登録された人は約23,261人で、2,126人が亡くなっており、世界の中では依然として結核の中まん延国として位置付けられていることから、引き続き十分な注意が必要です。今年の結核予防週間は、『「体がだるい?」「咳が治らないの?」それって結核かも・・・』をスローガンに実施します。この一週間を、「結核の制圧」に向けて、国民一人一人に理解と協力が得られるように知識を深め、結核対策の推進に一丸となって取り組むことが必要であります。

●当支部では、静岡県、静岡市、静岡県結核予防婦人会と協力して実施します。

実施日：平成23年9月23日(金)13:00～

場所：アピタ静岡店(静岡市駿河区石田)

●県・各市町の健康まつりなどで、当支部職員の参加(普及啓発活動・追加住民検診)、各種パネルやシールぼうやの着ぐるみを貸し出しています。

→お問い合わせは、総務部 鈴木まで

平成23年度静岡県結核予防婦人会 理事会及び総会の開催報告



『平成23年度静岡県結核予防婦人会理事会(支部長・事務局担当職員合同会議)及び総会』開催しましたのでご報告いたします。

理 事 会	
日 時	平成23年6月30日 (木) 午前10時30分～
会 場	静岡県男女共同参画センター あざれあ 2階 大会議室
議 題	第1号議案 平成22年度事業報告及び収支決算(案)について 第2号議案 平成23年度事業計画及び収支予算(案)について 第1号・第2号議案について審議し原案のとおり承認されました。
支部長・事務局担当職員合同会議 ・平成23年度複十字シール募金運動について ・静岡県結核予防婦人会活動について	

総 会	
日 時	同 日 午後1時～
会 場	同 会 場
議 事	第1号議案 平成22年度事業報告及び収支決算(案)について 第2号議案 平成23年度事業計画及び収支予算(案)について 第1号・第2号議案について審議し原案のとおり承認されました。
終了後	・最近の結核の発生状況について(静岡県健康福祉部疾病対策課) ・第15回結核予防婦人団体中央講習会出席者 概要報告 ・DVD上映 『結核ってなに?』 ／公益財団法人結核予防会結核研究所 名誉所長 森亨氏監修

ストップ結核ボランティア大使 JOYさん

2011年3月に、肺結核を発病し、3ヶ月に渡る入院を経て、復帰を果たしたタレントのJOYさんに、このたび、ストップ結核ボランティア大使就任をご快諾いただきました。

みんなに、知ってほしい。

結核って、オレたちの年代でもかかるとあるんだよ。でもね、正しい知識をもって、ちゃんと治療すれば治るんだ。もっとみんなに知ってほしい。結核の防止。

ストップ結核ボランティア大使

結核のない世界へ。結核 検査

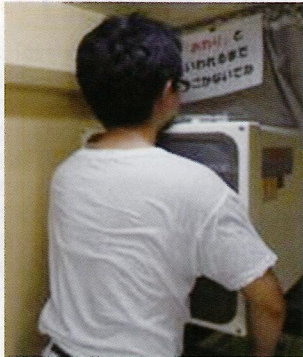
9・24・9・30は、結核予防週間です。

公益財団法人結核予防会 <http://www.jatahq.org>

???なぜ・なぜ・なあに???

最近、ニュースや新聞などで放射線とか放射能といった単語がよく聞かれるようになりました。

放射線とは広い意味で全ての電磁波および粒子線のことで、一般的には物質と作用して直接あるいは間接に電離をひき起こす性質がある電離放射線のことを放射線と呼んでいて、X線、γ線、α線・β線・中性子線などがあります。放射能とは放射線を出す性質(能力)のことであり、放射性物質とは放射能(放射性)をもつ物質の総称になります。



γ線・α線・β線などの放射線が放射性物質から出るのに対して、X線はX線管と呼ばれる特殊な真空管の中に陰極と陽極が備えられており、簡単にいうと電気の力を使って発生させています。このため医療用X線は絶えず発生しているわけではなく、必要なときに発生させることができるため、医療のみならずいろいろな分野で幅広く利用されています。

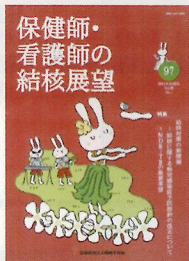
病院や検診車などのレントゲン撮影室は鉛で囲まれていて完全に遮へいされているため、X線が外に漏れることはありません。また、先ほど話したように絶えずX線が発生しているわけでもありませんし、撮影後すぐにX線は消滅してしまいます。待合室はもちろん撮影後に遮へい扉を開けても被曝することはありませんので安心して下さい。

診療放射線技師 宮崎文考



出版のご案内

結核を中心とする疾病の予防に関する正しい知識を広く普及するために、公益財団法人結核予防会が編集・出版している専門職向けの教科書や専門書、一般向けのパンフレットなどを案内いたします。



◆「保健師看護師の結核展望97号」 平成23年8月発刊!!

今回の特集 結核対策の新情報

- ①結核に関する特定感染症予防指針の改正について
- ②MDR-TBの最新情報

B5判104頁 定価1,995円(税込)

◆発売から爆発的人気「抗酸菌検査を使いこなすコツ」

- ・検査の流れ ・塗末検査 ・核酸増幅法 ・培養検査 ・同定検査
- ・薬剤感受性検査 ・IGRAs検査 ・感染症法関連ほか。

A4版40項 定価1,680円(税込)

◆一般向け啓発パンフレット「結核の常識2011」

結核に関する基礎知識をわかりやすく掲載しております。結核の基礎知識を身につけ、結核のない明日を作りましょう。購読希望の方、また地域の結核予防啓発活動においてこのパンフレットを使用して下さいの場合は、下記までご連絡下さい。在庫がある限り無料でご提供させていただきます。

他にもご用意しております。書籍の注文および出版案内をご希望の方は、(財)結核予防会静岡県支部までお問合せ下さい。

TEL : 054-261-2512 FAX : 054-261-9474

HPでは最新情報を掲載しております。どうぞご利用ください。

HP : <http://www.jatahq.org>



題字:田中隆(元支部職員) 表紙撮影:村木弘知(元県職員)